

平成10年度の気象条件を克服した湛水直播稲の稲体形質条件
－収量レベル65kg/a、登熟歩合90%、整粒歩合80%、1等米格付倒伏度2以内を具備した稲体条件－
福島県農業試験場農芸化学部・平成10年度成績概要

1 部門名 水稲－水稲－作物栄養 01－01－12000000

2 要 旨

平成10年度の気象条件においても、収量、品質とも高位を示した稲体条件を解析した。

(1) 品種にひとめぼれを用い、播種量は0.4kg/aで、歩行式の播種機により30cmの条播を行った。

(2) 播種後約10日間は水を入れず節水管理をおこない、最大で2cmの亀裂が生じるくらい乾燥させ苗立数は87本/m²を確保した。

(3) 最高分けつ期の茎数は900(本/m²)、苗立1個体当たりの茎数は10.3本となり、幼穂形成期の葉色は、SPAD値37であった。

(4) 出穂期における稲体の栄養生理生態の特徴は、茎重/穂が1.80(g/本)、光合成器官である葉身と蓄積器官である茎重の比率3.2、籾数/茎重が37であり、シンクの籾数に対し、ソース量の比率が高い稲体条件であった。

以上のことから、平成10年度の気象条件を克服した稲体形質条件は、①苗立本数90本/m²②苗立1個体当たりの穂数は5本、また、最高分けつ期における苗立ち1個体当たり茎数は10本であること。③出穂期において、1穂当たりの茎重が充実し、蓄積量の多い形質であること。④茎重の籾数に対する比率が高いこと。⑤出穂期における葉身N%は2.0%であること。等の特徴がみられた。